毎月第1日曜日発行

中日新聞
世界の動き身近な話題

嶺北 さんぽみち
かわら版さんぽみち編集局
〒918-8116 福井市大町2-206-1 福井広報センター内
TEL 0776-28-2116・FAX 0776-28-8602
Eメール osanpo@fukuikoho-c.co.jp

日刊 福井県民

ふくいの今がギュッと

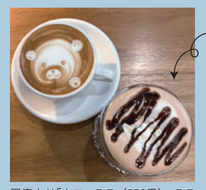
ふくい 美術館併設のカフェめぐり

アートに触れた後、その余韻に浸りながら一人でお茶を飲んだり、一緒に鑑賞した友人と感想を話したりと、さまざまな楽しみ方ができる美術館併設のカフェ。光が降り注ぐ特徴的な建物の中にあったり、手の込んだランチメニューや企画展とのコラボメニューを味わえたりと、「ならでは」の楽しみがある福井市内の美術館併設のカフェ2件を紹介する。いずれも美術館の入館料なしで利用できる。

café de musée PAPOTER（カフェ ド ミュゼ パポテ）

2月のバレンタインシーズンに登場する限定メニューは「フォンダンショコラ」(1,080円)。ベルギー産チョコレートを使った濃厚なチョコレートソースが中からとろーり流れ出す、温かいチョコレートケーキ。中に忍ばせたベリーの酸味とよく合い、添えられた生クリームやバニラアイス、カシスソースと一緒に食べれば一層ぜいたくな味わいに。他にもマカロンなど各種バレンタイン商品を用意

昨年4月、福井県立美術館併設のカフェが新しくなった。「パポテ」はフランス語で「おしゃべりする」という意味。「友人や大切な人と一緒におしゃべりをしながらホッとできる、ゆったりとした時間をすごせるように」との願いが込められている。落ち着いた色調の店内には、大きな窓に面したカウンター席やテーブル席があり、絵画やセンスのよい雑貨類があちこちに配され、目にも楽しい。同店はフランス総菜の店「Kuma Deli(クマデリ)キッチン」（福井市高木中央）の姉妹店とあって、数量限定のランチやカレーなどの食事メニューも充実。シーズンイベントや、県立美術館の企画展に合わせたコラボメニューも楽しめる。



写真左は「カフェラテ」(550円)。ラテアートが楽しめる1番人気のレギュラーメニュー。写真右は2月の限定ドリンク「塩チョコミルクティー」(650円)。子どもから大人まで、またコーヒーが苦手な人にもお薦めのバレンタインメニュー。越前海岸の塩が味のアクセントになっている

大きな窓に面したカウンター席は一人で過ごすときの特等席

一番人気のランチメニュー「パポテ特製キッシュワンプレートランチ」(1,540円)は、キッシュと新鮮野菜をたっぷり使ったサラダやデリ、スープ、パンが楽しめボリュームも十分。(内容は写真と変更の場合あり)

café de musée PAPOTER
住 福井市文京3-16-1 福井県立美術館併設
電 0776-37-3626
営 午前9時～午後5時
ランチタイム：午前11時～午後2時(L.O.午後1時30分)
休 不定休(詳しくはインスタグラムで確認を)
駐 福井県立美術館の駐車場を利用

@CAFE_DE_MUSEE_PAPOTER

福井市美術館カフェ KAHVITAUKO（カハビタウコ）

同店で人気の「シナモンロール」(500円)。しっとりフワフワの生地にシナモンシュガーがたっぷり練り込まれており、食べ応え十分。スコーンやカヌレなどの焼き菓子もある。コーヒーはオーナー自ら焙煎する豆をハンドドリップで丁寧に1杯ずつ立てる。ここでしか味わえない「福井市美術館ブレンド」(500円)は一番人気

長らく空きスペースとなっていた「福井市美術館アートラボふくい」の2階に昨年5月、待望のカフェがオープン。「カハビタウコ」はフィンランド語で「コーヒータイム」を意味し、北欧をコンセプトにおいたゆったりとした時間が流れる居心地抜群のカフェだ。壁面が大きなガラス張り構造の市美術館2階中心部に位置する同店には、自然光が降り注ぎ、窓の外には季節とともに移ろう木々の姿を見ることができる。自家焙煎珈琲のほか、シンガポールの紅茶ブランド「TWG Tea」の紅茶をポットで提供するなど、豊富なラインナップのドリンクメニューも魅力。「美術館にあるカフェを手掛けたかった」と話す同店オーナーは「知的刺激のある美術館の中にあるカフェ、というのがとても意味のあること。美術館の一員として、一緒に福井のアート界を盛り上げていけたら」と力強く語った。

店舗の中心の大きなテーブル席のほか、本棚やアンティーク棚で仕切られたソファ席などがあり、展覧会の感想を友人と交換し合ったり、1人で思考を整理したりとさまざまな楽しみ方ができそうだ

福井市美術館カフェ KAHVITAUKO
住 福井市下馬3-1111
福井市美術館 アートラボふくい2階
電 インスタグラムのDMにて
営 平 日 午後1時～午後5時
土・日 午前9時～午後5時
休 不定休(市美術館に準ずる。
詳しくはインスタグラムで確認を)
駐 福井市立美術館の駐車場を利用

@KAHVITAUKO2024

岩合光昭写真展
こねこ
2/15(土)～3/30(日)

猫の顔が愛らしい、ほんのり甘いマシュマロがアクセントになった、あったかドリンク

「こねこ」展開催期間中のコラボメニュー
にゃんマシュカフェ(880円)

おさんぽ こみちの 気になるお店に行ってきました！

健康志向の人にもお薦め 十割そば粉のシフォンケーキ

「十割そば粉のシフォンケーキ」(各380円)

「十割そば粉のガトーショコラ」(450円)

「十割そば粉のレモンケーキ」(480円)

福井市新田塚2丁目の「うつわ屋ぽたぽたポタリー」に併設された「ソボクニシフォン」は、県産のそば粉100％を使ったテイクアウトのシフォンケーキ専門店。
運営しているのはホームページ制作を手がける「LOOSEY(ルージー)」。1日3食そばを食べるほどそば好きのオーナー夫妻が、おやつもそばで…とレシピを開発し、商品化したものだ。無添加と無農薬にこだわり、小麦粉や米粉のシフォンケーキに負けない(むしろ上回る)食感とほのかなそばの風味が特長だ。「足かけ3年、500回の試作を重ねて“ふっくら・しっとり・ほわほわ食感”を実現させた。100点満点以上の商品」というオーナーの言葉にも納得の絶品シフォンだ。シフォンケーキのほかにレモンの甘酸っぱさが人気の「レモンケーキ」や、ずっしりと重量感のある「ガトーショコラ」がある。いずれもそば粉100％で小麦粉を一切使わないグルテンフリーの商品。“スーパーフード”と呼ばれるそばと吟味された素材で作ったスイーツは、健康志向の人や小麦粉アレルギーのある人にも注目されている。

「ぽたぽたポタリー」は器のセレクトショップ。店内には個性的で温かみのある作家の作品が並ぶ

バレンタインに

こみちのお薦め

グルテンフリーで、そば粉も不使用

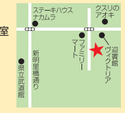
「生ガトーショコラ」(ショコラ、知覧茶＝抹茶、ほうじ茶・各480円)
乳化剤や香料などの添加物を避けるためにチョコレートから手作り。こだわりが詰まった逸品。口に入れた瞬間からとろけていく滑らかな食感で、濃厚なのに重くない

合言葉は「さんぽみち見たよ♡」だよ！

特典
1,000円以上のお買物をした人に「生ガトーショコラ」を1個プレゼント(先着10人)

@POTA_POTTERY

ソボクニシフォン
住 福井市新田塚2-24-10 テラスハウスS-02号室
(「うつわ屋ぽたぽたポタリー」に併設)
電 0776-97-8096
営 金・土・日曜日 午前10時～午後3時
駐 6台(共有)



和菓子屋さんで感じる四季の彩り 節分とバレンタイン

鯖江市の人気アニマル、レッサーパンダの焼き印を押した「パンダどらやき」や、季節のフルーツやクリームチーズが入った「フルーツ大福」で有名な鯖江市の「菓子処　安価堂」。今年で創業百年を迎える老舗和菓子店だ。三代目の吉田正彦さんは「『これが食べたい』と言っていただける定番商品に加えて、『今日は何にしようかな』と、ショーケースを見ながらおやつ選びを楽しんでいただける商品を作り続けたい」と意気込みを新たにしている。
節分の注目商品は、鬼やお多福のかわいい「上生菓子」(イベント用は各300円)と「恵方巻ロール」(480円)。恵方巻ロールは水ようかんとこしあんをブレンドした生クリームをロール生地で巻いたもの。上品な味わいと繊細な口どけが絶妙で、“恵方を向いて1本の丸かぶり”をするのも問題なさそうだ。

「恵方巻ロール」。2月末までの週末と祝日に「でっちロール」として販売している

和菓子屋さんのバレンタイン

こみちのお薦め

看板商品の「フルーツ大福」もバレンタイン仕様に変身

手土産に人気の「パンダどらやき」(小倉、栗、柚子、黒ゴマ、さつまいもがあり、170円～)

今年の上生菓子はこれ。チョコレートあんのハートを抱えた犬、猫、クマとレッサーパンダ(各300円)。かわいくて食べられないかも

プレゼント

@ANKADO_SABAE1235

菓子処 安価堂
住 鯖江市神中町1-2-15
電 0778-51-1235
営 午前9時～午後7時(日曜・祝日は午後6時まで)
休 月曜日(祝日の場合は営業)
駐 5台(共有)

※価格はすべて税込み
※プレゼントの応募方法は中面をご覧ください。

さんぽみちは皆さまの声でできています。「気になるお店」や「取材してほしい人」など、最寄りの販売店またはさんぽみち編集局へ！

follow me!
osanpo_komichi1

おさんぽ こみちの Instagram
随時更新中！

こみちのインスタグラムでは、取材途中で出合った風景やさんぽみちで取材させてもらったお店の紹介などを随時配信しています！
みなさんのフォローをお待ちしています♪

かわら版さんぽみち

あったか塾 布花で作る桜のコサージュ ～若狭パール付き～

参加者募集中

日 時 2月16日(日)
午前の部 午前10時30分～正午
午後の部 午後1時～2時30分
場 所 ハピリン2階の福福小屋
参加費 3,000円
対 象 小学4年生以上(小学生は保護者同伴)
定 員 各部15人(先着順)
講 師 下中優子さん(布花デザイナー)、橋爪裕子さん、朝田いづみさん

若狭パールをつぼみに見立てて布花で桜のコサージュを作ります。色は紫、ベージュ、グリーンなど洋服に付けた時になじむ色で染めました。好きな色を選んで作りましょう。

こちらのQRコードからもご予約いただけます↓

主催：日刊県民福井・中日新聞社
共催：福井市観光物産館福福館

問い合わせ・申し込み先 日刊県民福井事業グループ ＝☎0776-28-8618
(平日 午前10時～午後6時)

新聞ちぎり絵 みなさんも始めてみませんか？

出張教室します！

Shimbun Paper collage

新聞ちぎり絵に親しむ人が増えています。素材は新聞紙。下絵に合わせて新聞のカラー紙面をちぎって貼り合わせて絵を描いたもので、世界に1つだけの味わいのある作品を作ることができるのが魅力です。

新聞ちぎり絵体験会 始めます
ご希望の公民館サークルやお友達グループなど、開催場所と参加人数をご連絡ください。スタッフがみなさんの町にお伺いします。詳しくは中日新聞、日刊県民福井　販売促進部＝☎0776(28)2116＝までお気軽にお問い合わせください。(「新聞ちぎり絵体験会について」とお伝えください。)費用として材料代(「新聞ちぎり絵カードブック」10枚つづり)300円が必要です。